

物販事業者のための AI活用講座

今日の講座の概要

今日の講座の概要

- AIの力を借りて人間の10倍速で複雑なリサーチをする方法
- 深く考える機能を使って自分の頭を使わずに深い思考をする方法
- 自社サイトを短時間で作成する方法
- 海外メーカーにもらった画像クリエイティブから新しく画像や動画を作る方法
- 結局どのAIツールに課金すればいい？
- 「AIによって仕事を奪われる」は本当か？

前回のセミナーのおさらい

- RAGを使ったリアルタイム検索が
すごく便利
- 本当に物販に使えるAIツール
 - Perplexity, Genspark
 - Claude
 - ImageFX
- ChatGPTはもはやオワコン
- 課金おすすめ順
 - Perplexity
 - Claude
 - Beautiful.ai
 - Gamma
 - Runway

→ほぼ全部入れ替わりました

みんなのアンケートへの答え

アンケート結果への答え

- 3行目→一部出来るので結果を見せる
- 4行目→Deep Researchではできない。不動産サイトがAPIを公開していればできるかも。
- 6行目→E列からすると多分AIプログラミングをけっこうやってる人だと思うので、データ処理とかAPIを使ったデータ取得とかに使うのが良いんじゃないかな。2023年5月のChatGPTプログラミング講座参照。
- 7行目→そこそこのレベルでできる。あとで実演
- 8行目→できる。でもレビューを全部読むかどうか怪しいので、レビュー抽出はSeller SpriteやShulexを使ってやったほうがいい
- 9行目→できなくはない。職人技みたいなレベル感にはならない。

**「AIによって仕事が無くなる」
は本当か？**

AIに仕事を取られる？

- むしろ逆
- プリプロセス(AIに与える条件設定やプロンプト作成)、ポストプロセス(得られた結果をどう使うか)は人間の仕事
- AIは人間の業務を圧倒的に**効率化するが、自動化はしない**
- 実際この資料は5割ぐらいAIが最初に作っているが、そのあと黒田がそこそこの時間をかけて編集して作っている
-

まとめ

まとめ

- Deep Researchを活用すれば、市場分析や商品ページ作成、提案書作成などを効率化できる
- Deep Researchのおかげで人間の10倍のスピードで情報収集ができるようになった
- 結局のところいくらAIが便利になったところで、どういう条件設定でAIを使うか、得られた情報をどう使うかは使う人次第